



2022年4月6日

日本航空株式会社熊本支店

カテゴリ: サステナビリティ

国内初！ 阿蘇くまもと空港における空港内作業車両への 「高純度バイオディーゼル燃料30%混合使用実証実験」に参画

JALはCO2排出削減への取り組みとして、阿蘇くまもと空港配備の空港内作業車両(トローイングトラクター^{*1})に高純度バイオディーゼル燃料^{*2}を30%、軽油を70%の割合で混合した「B30燃料」を使用する国内初の実証実験に参画しました。

本実証実験については、経済産業省より試験利用の「大臣認定」を取得しており、一般社団法人高純度バイオディーゼル燃料事業者連合会^{*3}が実施主体となり、当社は協力企業の一社として試験車両の運用管理を行います。

この取り組みによりCO2排出量を軽油対比30%の削減効果と地域循環型エネルギーとしてSDGsを後押しできます。

JALグループは、今後も空港車両のCO2排出量削減に向けた取り組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

^{*1} 空港制限区域内にて航空貨物やお客さまの手荷物の運送用コンテナを牽引する車両

^{*2} 廃食用油・植物油を原料とするバイオディーゼル燃料(軽油代替燃料)。バイオディーゼル燃料の成分である脂肪酸メチルエステル(FAME)の精製純度を99.9%という極限まで高純度・高品質化したバイオ燃料。FAMEの原料である植物が成長過程でCO2を吸収していることから、カーボンオフセットの概念によりCO2をゼロカウントにすることが出来る。

^{*3} 高純度バイオディーゼル燃料の製造量拡大・普及・利用推進を目指し結成された団体。全国約50社の参加により運営(燃料製造業、建設業、廃棄物処理業等が加盟)

1. 期間

2022年4月1日 ~ 2023年3月31日(1年間)

2. 対象空港

阿蘇くまもと空港(熊本県上益城郡益城町小谷 1802-2)

3. 実験内容

軽油に高純度バイオディーゼル燃料 30%を混合した B30 燃料をトローイングトラクターに使用

4. 対象車両

阿蘇くまもと空港配備 JAL トローイングトラクター 1台

5. 問い合わせ先

日本航空株式会社熊本支店(096-355-3170)

